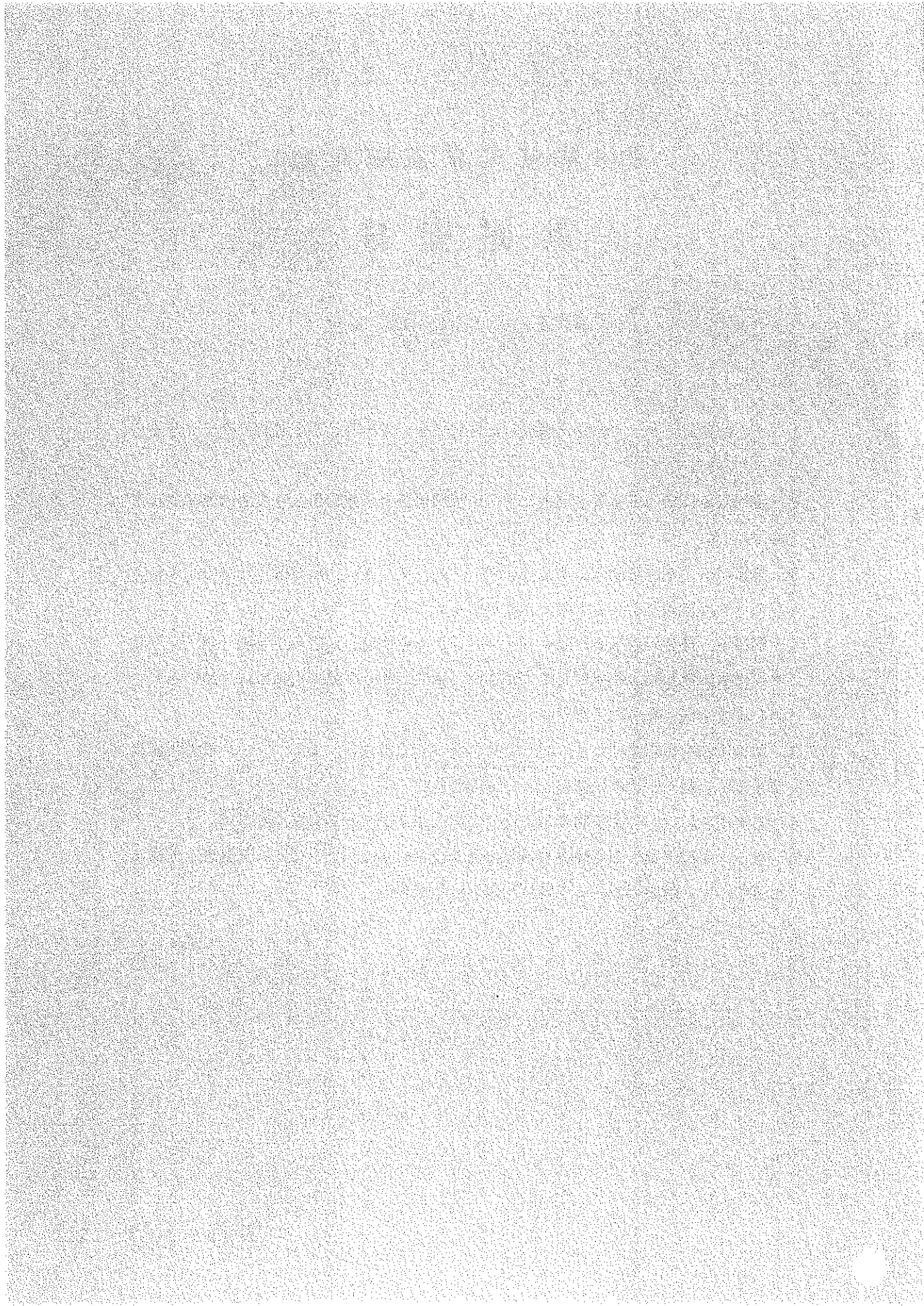


## 2018 年度 入学 試験 問題

# 世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(26点)

人類の歴史において、文字が発明され記録が残されるようになったのは紀元前3000年頃といわれているが、地球に人類が登場したのはそれよりもずっと前のことである。このように、人類の歴史の大部分は文字による記録がない。そのため、それを再現するのは化石人類の骨(化石骨)や遺跡・遺物を研究することでしかできないが、研究が始まった当初は化石骨の発見が少なく、十分な研究はなされなかった。

第二次世界大戦後、アフリカの南部や東部で化石骨が発見され、それらは人類進化の最初の段階である猿人<sup>(ア)</sup>のものとされた。アウストラロピテクスと総称されたこの猿人が最初に出現したのは400万年前頃と推定されていたが、1990年代以降にアフリカでより古い猿人の骨が次々に発見され、2001年にチャドで見つかったサヘラントロプスと呼ばれる猿人の骨は、700万年から600万年前のものと推定されている。

猿人の次の進化の段階は原人<sup>(イ)</sup>で、約240万年前に誕生した。原人は猿人に比べて環境への適応能力にすぐれていたとされ、まずアフリカに出現したが、その後アフリカを出て、ヨーロッパやアジアに拡散したといわれている。数十万年前に現われた旧人<sup>(ウ)</sup>は、原人より進化した人類で、1856年にドイツで発見されたネアンデルタール人が代表的なものである。このネアンデルタール人は現生人類の直接の祖先ではないと一般には考えられているが、最近の研究でネアンデルタール人のゲノム(全遺伝情報)を解読した結果、さらに進化した新人<sup>(エ)</sup>との混血の可能性が浮上した。

新人は、体型や知能の点で現生人類とほとんど変わらない。1879年にスペイン北部で発見された A の洞穴絵画には、新人の構想力や表現力の豊かさがよく現われており、現生人類に勝るとも劣らない彼らの芸術的才能を見てとることができる。これまでに発見された新人の骨のなかには、古いもので、約20万年前のものもあるが、1868年にフランス南西部で発見された B 人の骨は数万年前のものとされている。新人が世界各地へ拡散する過程で、彼らの文化や形質に地域ごとの違いが生ずるようになり、言語の多様化も進んだ。

①  
約1万年前に氷期が終わり、地球が温暖化して環境が大きく変わる。この時期、新人のなかに、それまでの狩猟・採集から農耕や牧畜へと生業を転換するものが現われる。初期の農耕は天水農法だったため収穫が不安定であったが、ティグリス川とユー

フラテス川に挟まれた場所を意味する「」と呼ばれる地域で灌漑農業が始まると、食料生産は拡大し、多くの人口を養うことが可能になって、この地域における文明の誕生へとつながっていく。文明は、ナイル川流域、インダス川流域、黄河・長江流域に誕生した文明と合わせて、いわゆる「世界の四大文明」として知られるが、のちに南北アメリカ大陸でも独自の文明が開いた。

【設問Ⅰ】 上記の文章の  ～  に入るもっとも適当な語句を、記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑤に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関して。共通の言語から生まれた同系統の言語集団を「語族」と呼ぶが、以下の言語のなかで、インド=ヨーロッパ語族に属さないものを1つ選びなさい。

- (a) オランダ語
- (b) ルーマニア語
- (c) フィンランド語
- (d) ペルシア語
- (e) ヒンディー語

問2 下線部②に関して。ティグリス川・ユーフラテス川流域でまずはじめに栽培された穀物はどれか。正しいものを1つ選びなさい。

- (a) <sup>ひえ</sup>稗
- (b) 米
- (c) <sup>あわ</sup>粟
- (d) 麦
- (e) <sup>きび</sup>黍

問3 下線部③に関して。ナイル川流域に誕生した古代エジプト王国の王で、アトン神を唯一の神とする宗教改革を行ったのは誰か。正しいものを1つ選びなさい。

- (a) ツタンカーメン
- (b) トトメス3世
- (c) クフ
- (d) アメンホテプ4世
- (e) ラメス2世

問4 下線部④に関して。インダス川中流域に誕生した都市文明の遺跡はどれか。正しいものを1つ選びなさい。

- (a) カーリバンガン
- (b) ブッタガヤ
- (c) パータリプトラ
- (d) ラーキガリー
- (e) ハラッパー

問5 下線部⑤に関して。南北アメリカ大陸に誕生した文明でないものを1つ選びなさい。

- (a) オルメカ文明
- (b) マヤ文明
- (c) ミケーネ文明
- (d) アステカ文明
- (e) テオティワカン文明

【設問Ⅲ】 上記の文章の波線部(ア)～(オ)に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問 1 波線部(ア)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 猿人が類人猿と大きく異なるのは、直立二足歩行をしていた点にある。
- (b) 猿人段階では、道具の使用は確認されていない。
- (c) 猿人の骨はアフリカ以外では見つかっていない。

問 2 波線部(イ)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 北京原人は火の使用を知っていた。
- (b) 原人は50万年前におとずれた氷期を乗り越えることができず絶滅した。
- (c) 原人のなかには、ハンドアックス（握斧）を用いていたものもある。

問 3 波線部(ウ)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 旧人のなかには、死者を埋葬していたものもある。
- (b) 旧人の脳容積は、現生人類にくらべると、かなり小さかった。
- (c) 旧人のなかには、毛皮でつくった衣服をまとうものもいた。

問 4 波線部(エ)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 新人は石器だけでなく、骨角器も使用していた。
- (b) 現生人類に直接つながる新人は、アフリカで誕生した。
- (c) 北京郊外で発見された周口店上洞人は、新人に属する。

問5 波線部(オ)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 長江下流域には、畑作に適した肥沃な土壌である黄土が堆積している。
- (b) 彩陶文化とも呼ばれる仰韶文化は、黄河流域に現われたものである。
- (c) 竜山文化を代表する土器は、灰陶や黒陶である。

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(24点)

アドリア海に面したラヴェンナは、現在では人口16万の市民が住む北イタリアの典型的な小都市にすぎない。しかし、この町には西ローマ帝国や東ゴート王国などが都を構え、東ローマ帝国が総督府をおいたという歴史がある。この小さな町の中に5世紀から6世紀末にかけ、数多くのキリスト教の聖堂や礼拝堂がたてられた。こうした建築物の列柱、十字形や八角形のレンガ建築は、揺籃期にあったキリスト教教会の様々な変化の様子を今に伝えている。これらの建築物は、1996年に「ラヴェンナの初期キリスト教建築物群」として、ユネスコの世界文化遺産に登録された。ユスティニアヌス大帝が、6世紀にボスフォラス海峡にのぞむ都市コンスタンティノープルに再建した **A** 聖堂は、当時のビザンツ様式を表現した代表的な聖堂として有名であるが、15世紀にビザンツ帝国がオスマン朝に滅ぼされた後、イスラーム教のモスクへと改造された。ところがラヴェンナに建てられた、当時の様式を代表する典型的な教会堂である **B** 聖堂は、その後、ほとんど大きな変化を受けることなく、現在ではビザンツ芸術の最高傑作とまでいわれている。この **B** 聖堂の内陣には、ユスティニアヌス大帝自身の姿やその皇后にしてかつての踊り子であった **C** が従者たちを従えている壮麗な群像を描いたモザイク壁画がある。このモザイク壁画という様式は、この時代に求められたスタイルとその特徴とを十二分に發揮していて、のちに東欧諸国で大いに製作される、イコンとよばれる聖像画へと繋がっていくことになる。

先に述べたユスティニアヌス大帝は、バルカン半島に生まれ、帝位についた後、ローマ帝国の栄光とその回復につとめ、巨大な地中海帝国の復活を積極的に促した人物であるが、その様な流れの中で、西ヨーロッパの多くの国々の法の基礎となった法典を編纂させた。彼はまた遠い内陸アジアから門外不出であった蚕種や養蚕の技術の導入に努力を傾け、これを自国の民に受け入れさせ、製糸業や絹織物産業を国家の重要な柱に高めようと試みた。ビザンツ帝国はこの製品を外交戦略のための貢物、あるいは使節への下賜品として巧みに用いていたのである。そのため帝国政府はその品質保持に特に気を使い、同業組合の管理や任命などを直々に行っていたほどであった。やがて西ヨーロッパでは皇帝と教皇という二つの権力が相並び立ち、対立し、その



拮抗の中で新たな秩序を築いていくことになるが、コンスタンティノープルを足場にして世界貿易を展開したビザンツの皇帝は、地上におけるキリストの代理人としてギリシア正教会を支配する立場にあり、世俗社会と宗教界の両面において唯一人の最高権力者であった。

上に述べたモザイク壁画を中心とするビザンツ様式は、その後西ヨーロッパを中心に広がっていくロマネスクやゴシックの美術や建築の発展に計り知れない刺激を与えていく。またビザンツ文化は、カルパチア山脈の北方を原住地とし、そこから周囲に広がっていったスラヴ系の諸民族にも大きな影響を与える。スラヴ系の諸民族は、それまでの自分たちの伝統とはまったく異質であったキリスト教文化に触れ、これを取り入れ、やがて独自に自立と建国の道を歩んでいくことになる。そのきっかけとなったのが、ビザンツ帝国の社会と文化であった。とりわけ東スラヴ人はビザンツ文化の基礎でもあるギリシア正教を受容し、その文化圏に入ることによってスラヴ人としての意識形成に役立てていった。また南スラヴ人や西スラヴ人はローマ=カトリック教会の影響を受け入れつつも、これを独自に解釈しながら、日常生活の中へ取り入れていった。古代ギリシアの文化遺産を受けつぎ、これをさらに継承させていたビザンツ社会の存在がなければ、こうした文化のダイナミックな継続性は望めなかったのではなかろうか。

【設問Ⅰ】 上記の文章の  ～  に入るもっとも適当な語句を、記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑤に関する以下の間の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関して。オスマン朝が当事国となった戦争ではないものを1つ選びなさい。

- (a) コソヴォの戦い
- (b) パーニーパットの戦い
- (c) アンカラの戦い
- (d) ニコポリスの戦い
- (e) プレヴェザの海戦

問 2 下線部②に関して。ギリシア正教会に関する記述として誤っているものを1つ  
選びなさい。

- (a) コンスタンティノーブル教会は、ローマ・アンティオキア・イェルサレム・アレクサンドリアとならび、キリスト教の五本山の一つであった。
- (b) レオン3世が聖像崇拜禁止令を發布し、これによりローマ教会との対立が深まった。
- (c) 11世紀にローマ教会とコンスタンティノーブル教会は相互に破門しあった。
- (d) キエフ公国のウラディミル1世は、ギリシア正教を国教とした。
- (e) バルカン半島に南下してきた南スラヴ人のうち、スロヴェニア人はギリシア正教に改宗した。

問 3 下線部③に関して。以下の建物のうちゴシック様式の建築物はどれか。正しい  
ものを1つ選びなさい。なお丸括弧内は各建築物がある都市を示している。

- (a) ピサ大聖堂 (ピサ)
- (b) サンタ=マリア大聖堂 (フィレンツェ)
- (c) サン=ピエトロ大聖堂 (ローマ)
- (d) ヴォルムス大聖堂 (ヴォルムス)
- (e) ノートルダム大聖堂 (パリ)

問 4 下線部④に関して。以下の民族のうち東スラヴ人はどれか。正しいものを1つ  
選びなさい。

- (a) セルビア人
- (b) クロアティア人
- (c) ポーランド人
- (d) チェック人
- (e) ロシア人

問5 下線部⑤に関して。以下の人物のうち古代ギリシアの劇作家でない人物を1人  
選びなさい。

- (a) ヘロドトス
- (b) アイスキュロス
- (c) ソフォクレス
- (d) エウリピデス
- (e) アリストファネス

【設問Ⅲ】 上記の文章の波線部(ア)～(エ)に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙に  
マークしなさい。

問1 波線部(ア)に関して。西ローマ帝国と東ゴート王国に関する記述として、正しい  
ものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) ローマ帝国が東西に分割されたのは、トラヤヌス帝の死の直後のことである。
- (b) 西ローマ帝国は、傭兵隊長オドアケルにより滅ぼされた。
- (c) 東ゴート人は、オドアケルを倒して東ゴート王国を建国した。

問2 波線部(イ)に関して。コンスタンティノープルに関する記述として、正しいもの  
にはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) この都市はコンスタンティヌス帝により建設され、テオドシウス帝により首都に定められた。
- (b) この都市は第四回十字軍により占領された。
- (c) ビザンツ帝国がオスマン朝に滅ぼされた後、この都市はイスタンブルと呼ばれるようになる。

問3 波線部(ウ)に関して。ビザンツ帝国に存在した制度に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 外敵の侵入に備えるため、テマ（軍管区制）が採用された。
- (b) 兵士には軍役とひきかえに世襲可能な土地が与えられた（屯田兵制）。
- (c) プロノイア制により、小土地所有の自由農民が増加した。

問4 波線部(エ)に関して。この法典に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) これらの法典は、『ローマ法大全』と呼ばれている。
- (b) これらの法典は、中世の間は忘れられていたが、近代に入り大学法学部で学ばれるようになった。
- (c) これらの法典は、イギリスの民法典に多大な影響を与えた。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(26点)

歴史を勉強する際には、歴史を構成する、政治、経済、国際関係、社会、文化等のさまざまな側面に留意する必要がある。以下では主に西ヨーロッパの諸地域を対象にして、歴史の諸側面のうちでも経済の面に着目することにしよう。

ヨーロッパでは一般に、資本主義が発生する以前には土地が経済的領域において重要な意味をもっていた。例えば古代ローマでは、帝政の初期までは、A と呼ばれる、数多くの奴隷を労働力として用いて大土地経営を行う農業形態が隆盛であったが、帝政がすすむなかで小作人を使用するコロナトゥスと呼ばれる農業形態が広がっていった。いずれも大所領をもつ人々が経済的な優位にあった。

中世に入ると8世紀頃から荘園制が経済制度の基盤となった。中世の農民は、十分の一税をはじめとするさまざまな負担を負い、領主の支配の下におかれた。

さらに時代がすすみ、アメリカ大陸が発見されるとその地から大量の銀がヨーロッパに流入し B と言われる物価の上昇が起こった。その結果として貨幣価値が下落し、封建領主が経済的に打撃を受けたことが封建制崩壊の一因となった。このような背景の下にオランダ、イギリス、フランスの各国はそれぞれ東インド会社を創設してアジアへの進出をはかった。アジア諸国との貿易で利益をえたこうした国では重商主義の思想が生まれ、それによって自国の貿易政策を正当化した。

このような経緯をへて経済的に最も先進的であったイギリスでは間屋制家内工業やマニュファクチュアという経営形態での生産が行われ、資本主義的生産への道が始まることになる。18世紀後半に他国に先駆けて産業革命を経験したイギリスでは、綿工業をはじめとするさまざまな産業が相互に関連して歴史に類例のない経済発展を実現した。こうした経済的動向に照応して、19世紀の半ばになると同国では穀物法や、クロムウェルの時にオランダによる中継貿易を排除する目的で制定された C という法律も廃止された。

しかし産業革命を通じたイギリスの経済発展は、他方で大きな問題点を内包していた。過酷な労働条件の下で働くことを余儀なくされた労働者に関する問題がそれだが、それは現実の運動としてのチャーティスト運動や、社会主義思想を生み出したのであった。

資本主義の先進国イギリスに対して、ドイツは経済発展で遅れを取っていたが、1830年代に形成された関税同盟を通じて重工業化がすすみ、19世紀後半にはユンカー<sup>(オ)</sup>出身の首相ビスマルクによって富国強兵政策が推し進められた。こうして19世紀後半以降の世界経済はヨーロッパの列強諸国やアメリカ合衆国を中心とする独占資本によって特徴づけられる帝国主義の時代に入っていく。

【設問Ⅰ】 上記の文章の  ～  に入るもっとも適当な語句を、記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑤に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関して。荘園制に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。

- (a) 荘園は領主直営地と共同地（入会地）のみからなりたっていた。
- (b) 農民に移動の自由は認められていなかった。
- (c) 領主直営地に農民の立ち入りは禁止されていた。
- (d) 中世末には、農民の負担は過酷な貨幣地代から賦役へと軽減された。
- (e) 第1次囲い込みによって荘園制は強化された。

問2 下線部②に関して。オランダ、イギリス、フランスの東アジア交易の拠点地ではないものを1つ選びなさい。

- (a) バタヴィア
- (b) マドラス
- (c) マニラ
- (d) ボンベイ
- (e) ポンディシェリ

問3 下線部③に関して。綿工業に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) 綿布の原料となる綿花は、大西洋三角貿易を通じてイギリスにもたらされた。
- (b) 飛び杼は、ジョン=ケイによって発明された。
- (c) ハーグリーブズは、多軸紡績機を発明した。
- (d) 力織機は、アークライトによって発明された。
- (e) ワットによって改良された蒸気機関が、力織機などの動力として利用された。

問4 下線部④に関して。チャーティスト運動のなかで労働者が要求したものはどれか。正しいものを1つ選びなさい。

- (a) 人民協約の締結
- (b) 人民宣言の公布
- (c) 婦人への参政権の付与
- (d) 男子普通選挙制の実施
- (e) 団結禁止法の制定

問5 下線部⑤に関して。以下の人物のなかで社会主義の思想家ではない人物を1人選びなさい。

- (a) マルクス
- (b) オーウェン
- (c) フーリエ
- (d) ニーチェ
- (e) サン=シモン

【設問Ⅲ】 上記の文章の波線部(ア)～(オ)に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 波線部(ア)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) この制度で農場経営が苦しくなった地主が次第に都市に移住した。
- (b) 小作人の身分には当初、制限があったが、コンスタンティヌス帝の時から自由身分となった。
- (c) 「コロヌス」とはコロナトゥス制度における地主のことである。

問2 波線部(イ)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 十分の一税は教会に対して納付された。
- (b) フランスではナポレオンにより十分の一税が廃止された。
- (c) 農民は領主に対して貢納や賦役を義務づけられていた。

問3 波線部(ウ)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) フランスではコルベールが重商主義政策を推進した。
- (b) 輸出よりも輸入を重視する貿易差額主義が重商主義政策の特徴である。
- (c) 重商主義とは、自由放任が経済発展のために必要であるという考えである。

問4 波線部(エ)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 穀物法の廃止は、保護貿易主義の勝利を表している。
- (b) 穀物法は、地主の利益に合致するものである。
- (c) コブデンは、穀物法廃止に尽力した。



問5 波線部(a)に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) ユンカーとは、広大な農場をもつ地主貴族である。
- (b) フリードリヒ2世の時代は、王とユンカーが激しく対立した時代であった。
- (c) フランクフルト国民議会のあと、プロイセンでは、ユンカーたちが自由主義的政策を推し進めた。

IV 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(24点)

南極大陸は、地球上の6大陸のうちで5番目に大きな大陸であり、ちょうど地球の南の極に位置している。他の大陸から隔絶した場所にあり、また何十万年にもわたって降り積もった氷雪に覆われたこの大陸では、ごくわずかの例外を除き動植物は生命活動を維持することはできなかった。

15世紀に大航海時代が幕をあけると、ヨーロッパの人々は全地球規模での探検を開始した。この地の人々は、古代ギリシアに由来する地球球体説に立脚した上で、北半球の諸大陸の重さと釣り合いのとれる重さの「未知の南方大陸」が南半球にもあると想像していた。最初に、この想像上の大陸をもとめて船出したのは、ポルトガル人のペドロ＝フェルナンデス＝デ＝キロスであった。彼は、1606年、南太平洋を探検してソロモン群島の南東にあるニューヘブリデス諸島を発見し、ここが伝説上の南方大陸であると報告した。続いて南方大陸に関心をもったのは、オランダ人たちであった。なかでも有名なのが、インドネシアから船出し、オーストラリア大陸やニュージーランドに到達したタスマンである。18世紀になると、イギリスが南半球の海洋探検を主導し、数次にわたり南方大陸を目指す艦隊を送り出した。この活動にあってとりわけ大きな功績があったのが、18世紀後半に3度にわたり南太平洋を探検し、その途上ハワイで先住民に殺害された **A** であった。しかし、彼もまた南方大陸を発見することはできなかった。

19世紀になり、ようやく人類は南極大陸に到達する。1820年、ロシア海軍のベリングスハウゼンは南極圏内に複数の島を発見し、さらに南極大陸も発見した。ほぼ同じ頃、アメリカのアザラシ漁師パーマー、イギリス海軍のブランスフィールドもまた南極大陸に到達した。この後、科学的関心もまた南極に向けられるようになる。20世紀になると、北極点・南極点への関心が高まり、北極点には、1909年アメリカの探検家 **B** が到達した。1911年、南極を目指す探検が、イギリス隊と、**C** が率いるノルウェー隊により実施された。ノルウェー隊は同年12月14日、南極点に到着し、無事帰還を果たしたが、イギリス隊は南極点到達にこそ成功するものの、その帰路、遭難し全滅した。

地球上の6大陸のうち、大航海時代以前のヨーロッパ世界に知られていたのはユー

ラシア大陸とアフリカ大陸のみであった。その他の4大陸は「発見」されたと称されているもの<sup>②</sup>、真の意味での発見は南極大陸のみであり、それ以外の地には、はるか以前に到達し、定住していた先住民がいた。しかしヨーロッパの人々はこうした「新たな」大陸を仲間うちで分割し始める。ヨーロッパ諸国の間で通用していた国際法では、「新たな」土地を先占した「文明」国がその土地を領有できるものとされ、この理屈に基づきヨーロッパの国々は、地球上の各地を侵略する。その結果、20世紀初頭には世界中のほとんどの土地がヨーロッパの国々の支配下におかれるに至った<sup>④</sup>。南極も、まさしくこれが無主の地であるがゆえに例外ではなかった。1908年にイギリスが南極の一部の地域の領有宣言を行ったことを皮切りに、様々な国が南極大陸の一部または周辺の島嶼に領有権を主張した。しかし、1961年より発効した南極条約により、南極大陸上での領土の主張は凍結されることになった。発効当時はこの条約の当事国は12カ国であったが、1960年代にはデンマークやオランダ、1970年代にはドイツ民主共和国やドイツ連邦共和国、1980年代には中華人民共和国やインドが批准し、2015年時点で53カ国がこの条約の当事国となっている。この条約により、領有に関する主張は凍結され、南極地域の軍事的利用、核兵器の持ち込み、核実験の実施<sup>(ウ)</sup>、放射性廃棄物の処理は禁止された。

今日、南極はもっぱら科学研究のための場となっている。南極では隕石の収集、オーロラなどの極地特有の気象現象の観察といった研究活動が営まれている。また、この地には100万年以上にわたる氷雪が層をなしていることから、これをボーリング調査し氷床コアをとりだすことで、極めて長期にわたる地球の気象変動を明らかにする研究が進められている。こうした研究から、大気中の二酸化炭素濃度が産業革命以後飛躍的に増大していることが判明し、現在、地球全体での二酸化炭素排出を抑制する試みが国際的に進められている<sup>(エ)</sup>。

【設問Ⅰ】 上記の文章の  ～  に入るもっとも適当な語句を、記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑤に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関して。17世紀のインドネシア周辺の情勢に関する記述として誤っているものを1つマークしなさい。

- (a) ジャワ島の西側には、胡椒生産で栄えたバンテン王国があった。
- (b) スマトラ島の北端に位置するアチェ王国（アチエー王国）は、香辛料交易で繁栄した。
- (c) ジャワ島の中部・東部には、稲作で栄えたマタラム王国があった。
- (d) アチェ王国（アチエー王国）・バンテン王国・マタラム王国はいずれもイスラーム教国であった。
- (e) オランダは、バンテン王国とマタラム王国を滅亡させ、ジャワ島全域を植民地とした。

問2 下線部②に関して。アフリカ大陸は長い間欧米列強の支配下におかれたが、ようやく20世紀になり独立することになる。アフリカ諸国の独立に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) モロッコとチュニジアはフランスから独立した。
- (b) ガーナは、エンクルマの指導の下、自力での独立を達成した。
- (c) アルジェリアは、民族解放戦線（FLN）とフランスとの戦いの後、独立を達成した。
- (d) 1960年には17の新興独立国が生まれ、この年は「アフリカの年」と呼ばれた。
- (e) コンゴでは、独立後、旧宗主国のポルトガルが介入したことによりコンゴ動乱が生じた。

問3 下線部③に関して。オーストラリアやニュージーランドの先住民に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) 5万年前ごろ、新人は、オーストラリアに移動した。
- (b) オーストラリアの先住民は「アボリジニー」と呼ばれている。
- (c) ニュージーランドの先住民は「マオリ人」と呼ばれている。
- (d) イギリスの植民地となったオーストラリアには、大量の流刑囚が送り込まれた。
- (e) オーストラリアでもニュージーランドでも、19世紀に牧羊業が進んだことで先住民の経済的状況が改善された。

問4 下線部④に関して。アフリカ大陸の中で欧米諸国の支配下に入らなかった地域はどれか。正しいものを1つ選びなさい。

- (a) リベリア
- (b) アンゴラ
- (c) カメルーン
- (d) ソマリア
- (e) ナイジェリア

問5 下線部⑤に関して。中華人民共和国が南極条約の当事国となったのは1983年のことである。条約の発効からこの年までの間の中華人民共和国に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) 1966年、毛沢東と林彪は、プロレタリア文化大革命を開始し、劉少奇・鄧小平を追放した。
- (b) 1971年、国際連合では中華民国にかわり中華人民共和国を中国の代表とする決議がなされた。
- (c) 1972年、アメリカのニクソン大統領が中華人民共和国を訪れ、林彪と関係正常化に関して合意した。
- (d) 1976年に周恩来と毛沢東が死亡した後、文化大革命推進派が逮捕され、その翌年文化大革命は終了した。
- (e) 鄧小平たちは、1978年に改革・開放政策を実施に移した。

【設問Ⅲ】 上記の文章の波線部(ア)～(エ)に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 波線部(ア)について。古代にあって地球球体説の証明を試みた一人にアリストテレスがいる。アリストテレスに関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) アイデアに基づく理想主義哲学を説いた。
- (b) 哲学、論理学、自然科学などのさまざまな方面に思索をめぐらした。
- (c) 「人間は万物の尺度である」とする相対主義を唱えた。

問2 波線部(イ)について。ポルトガル人による航海に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) 「航海王子」エンリケは、アフリカ西岸の航路開拓を推進した。
- (b) バルトロメウ=ディアスは、喜望峰をまわりカリカットに到達した。
- (c) ヴァスコ=ダ=ガマは、大西洋を西進し、サン=サルバドル島に到達した。

問3 波線部(ウ)について。核兵器に関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) アメリカ合衆国は、第二次世界大戦中に核兵器を開発し、実戦で使用した。
- (b) ソ連による水素爆弾の核実験の成功を受け、アメリカはビキニ環礁で水爆実験を実施した。
- (c) ビキニ環礁の水爆実験により、日本人の船員が被爆した。

問4 波線部(エ)について。二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス削減に関する1990年代以降の国際的とりくみに関する記述として、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマークしなさい。

- (a) ブラジルで国連環境開発会議が開催され、アジェンダ21計画とリオ宣言が採択された。
- (b) 京都議定書では、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス削減のための数値目標が定められた。
- (c) 二酸化炭素の大量排出国であるロシアは、京都議定書からの離脱を表明した。

